電気分解式除湿素子ロサール

ＲＯＳＡＨＬ

ELECTROLYTIC DEHUMIDIFIER

除湿素子「ＲＤ３・ＲＤ４」取扱説明書

お願い

１．ご使用前に、この取扱説明書をお読みになり、正しくお使い下さい。
２．施工される方、日常の操作・管理及び保守される方は、取扱説明書を必ず保管・管理して下さい。

YOSAI TEC 菱彩テクニカ株式会社
〒661－0001　兵庫県尼崎市塚口本町８丁目１－１
TEL 06（6497）9078　　FAX 06（6497）9082

内容物の確認

① 除湿素子（ロサール） …… １台
② パッキン …… １個
③ 取扱説明書 …… １部

安全にお使い頂くために

●必ず、直流３Ｖ電圧でご使用下さい。又、極性を間違えないで！
除／加湿が逆になるばかりでなく、本素子の故障の原因となります。
本素子への供給電源は、注意事項　２.（２）項を参考に選定して下さい。
禁止

●**取付方向を間違えないよう、取付け前に十分確認して下さい。**
取付け方向を間違えると、除／加湿が逆になり、容器内の収納物に悪影響を及ぼす原因となります。
禁止

●**素子面に直接風雨を当てないで下さい。**
屋外用の機器で使用される場合は、素子面に直接風雨が当らないように、カバーを必ず取付けて下さい。
禁止

●**素子面をピンや針金等を入れないで下さい。**
感電する可能性や、除湿素子が破損し性能劣化の原因となります。
禁止

●シール剤で容器を密閉構造にする場合、シリコン製シール剤は使用しないで下さい。　性能が低下することがあります。
禁止

● 気化性防錆剤，**防虫剤との併用、有機性ガスの濃い場所での使用は避けて下さい。**　性能が低下することがあります。
禁止

●**絶対に分解・修理・改造をしないで下さい。**
感電の可能性や、除湿素子の性能が低下する原因になります。
分解禁止

RB-説 11001B

取付方法・場所

1

本素子は、出来るだけ容器の**側面中央部に付属のパッキンで容器内外の気密性を確保**して取付けて下さい。

2

本素子を容器に取付ける際、**取付方向を間違えないよう**十分確認して下さい。
取付け方向を間違えると、除／加湿が逆になり、容器内の収納物に悪影響を
を及ぼす原因となります。

3

取付面には、必ず**取付穴を開けて下さい。**
加工寸法は、図１．「取付穴加工図」を参照下さい。

4

本素子の除湿面、放湿面（図１．を参照）には、**手や物体が絶対に触れないよう必要に応じて、保護カバー等**を取付けて下さい。
又、**屋外用の機器で使用される場合は、素子面に直接風雨が当らないように、カバー又は透湿シートを必ず取付けて下さい。**

5

本素子の性能を十分に発揮させるために**容器内は、出来るだけ密閉構造**にして下さい。
例）容器の蓋：全周をパッキンシール、ケーブル取り出し口：パテシール等。

6

放湿側を密閉状態や換気の悪い箇所に設置しないで下さい。
除湿素子の性能が低下する原因になります。

注意事項

１．シール剤について

密閉性確保の為、シール剤を使用される場合は、次のものを使用して下さい。

変成シリコンコーク（コニシ（株）製）又はアクリルコーク（コニシ（株）製）
（変成シリコンコークの主成分はポリウレタンです）

・上記以外のシール剤を使用される場合は、弊社までご相談願います。
・特に、シリコン系シール剤は、硬化過程でオキシムガス、シロキサンガスを発生し、ロサールの性能を低下させます。

２．本素子への供給電源について

素子への供給電源について、次の事項を厳守して下さい。

（１）．絶対に極性を間違えないで下さい。
極性を間違えると、除／加湿が逆になり、容器内の収納物に悪影響を及ぼす原因となるばかりでなく、陰極側の多孔性電極が化学反応により消耗し、本素子の故障の原因となります。
（必要に応じて、外部に極性確認用ＬＥＤを取付けて下さい。）

（２）．除湿素子自身の特性上、電源ＯＮ時に比較的大きな突入電流が流れますので、使用される電源は、次の仕様のものを推奨します。

推奨電源仕様

	ＲＤ３/ＲＤ４
定格出力電圧	ＤＣ　３Ｖ
定格出力電流	５００ｍＡ
過電流保護機能 （逆Ｌ垂下型又は フの字垂下型）	○
	注）　「フ」の字型の電源を使用された場合、 除湿素子が正常に動作しない事があります。
過電圧保護機能	○
出力電圧変動	０．１Ｖ以下
リップルノイズ	０．２Ｖ以下
その他	市販の電源仕様に準じる

（３）．電源は、除湿素子１台毎に、専用電源を使用して下さい。
（電源１台で、複数の除湿素子を直列又は並列で駆動することは避けて下さい。）

（４）．本素子へ接続する電線サイズは、**ＡＷＧ２８～２０**の電線を使用して下さい。

除湿素子の外形

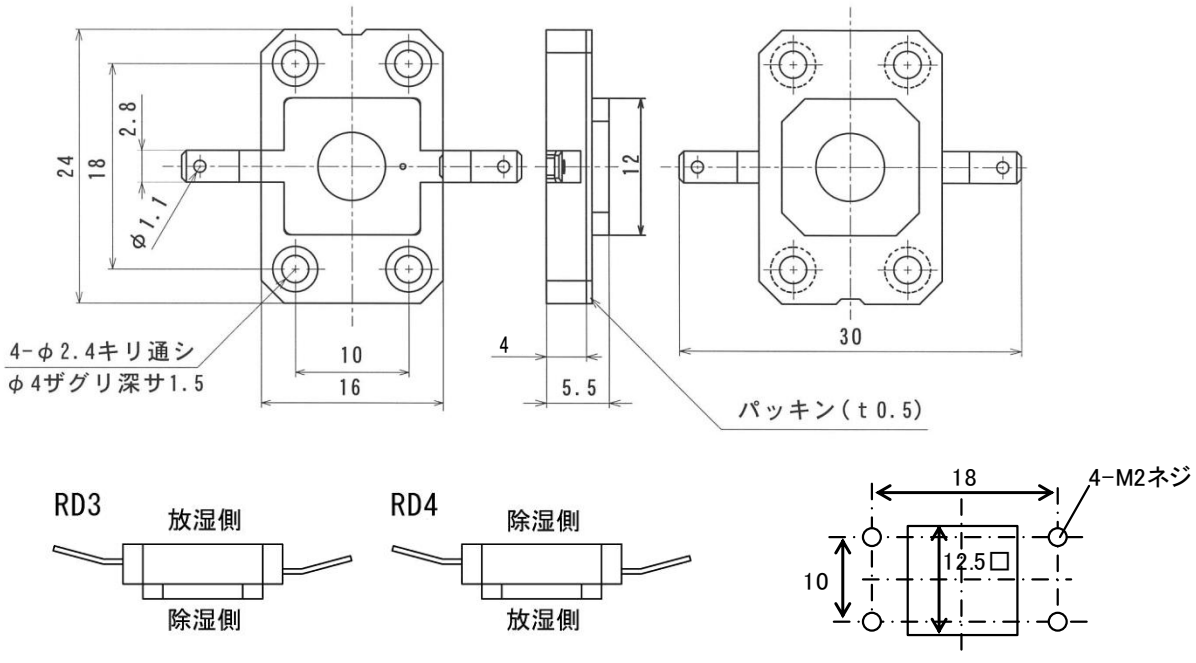

図１．

ご使用方法

『ご使用前確認事項』

本素子に電気を供給する前に次の事項を必ず確認して下さい。

１．本素子の取付け方向は間違いありませんか。
２．供給電源はＤＣ３Ｖで、極性は正しく接続されていますか。
３．本素子が濡れていませんか。

『ご使用方法』

１．本素子にＤＣ３Ｖを供給して下さい。
２．取付け時のみ、電源を供給した後、１５～２０分程度放置し、素子への供給電圧を、素子端子間で、ＤＣ２．９５～３．０５Ｖの範囲に入るよう、供給電圧を調整して下さい。
（電源を入れた初期は、本素子の特性上、比較的大きな突入電流が流れますが、これは異常ではありません。）

※ご使用上、不明な点がありましたら、購入先若しくは、弊社までご一報下さい。

製品仕様

表１．

項　目　　型　名	ＲＤ３/ＲＤ４*8
除湿能力　（ｍｇ/ｈ）*1	３．５
適用容積　（ｃｃ）*2	～２０００
素子端子電圧　（Ｖ）	ＤＣ３Ｖ
消費電力　（mW）*3	８０
外形寸法　（mm）*4	２４×３０×５．５
重量　（ｇ）	約１．９
放湿口加工寸法（mm）*5	１２．５×１２．５
使用温度　（℃）	－１０～５０
素子接続端子仕様	半田付け*6or 差込端子*7

注：*1　温度３０℃、湿度６０％での初期値。（除湿特性はご使用と共に徐々に低下します。低下の程度は使用環境や使用条件によってかなり変化しますので、不都合の兆候が現れ始めてきましたら早めの交換をお勧めします。）
*2　適用容積は容器が透湿性のない密閉状態での値であり、容器の材質や密閉状態及び要求湿度によって変わります。
*3　日本の平均環境での年間の平均消費電力値です。
*4　外形寸法の詳細は、図１．を参照して下さい。
*5　容器の取付部に取付穴の口穴と取付ネジ穴を開けて下さい。（図１．「取付穴加工図」を参照）
*6　半田付けする際は、半田ゴテのこて先温度３６０℃・５秒以内で半田付けしてください。
*7　差込端子は、平型接続端子：STO-01T-110N（ＪＳＴ（株））or 同等品を使用して下さい。
*8　容器内を除湿する場合、「ＲＤ３」は容器の外側から取り付けるタイプ、「ＲＤ４」は容器の内側から取り付けるタイプです。